

## 金型メーカーから 金型ドクターに脱皮図る

- 海外発注可
- 納期相談
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン



精密アルゴン溶接の内製化で競争力を高める

### 業務内容 海外金型メーカーの 台頭契機に

当初は家電向けの金型生産からスタートし、金型生産と微調整や修理ノウハウを培ってきた。昭和50年代に家電メーカーの海外移転が進んだことで、それを補うために自動車産業向けの仕事も手がけるようになった。

バブル崩壊後に海外の金型メーカーが台頭したことで、国内で生産活動する同社は業績が低迷。そこで平成13年頃から金型の修理をビジネスにしようと考えようになった。平成21年に福岡県に工場を新設したのを契機に金型の修理や改造、メンテナンスに業態を大きく変えていくことにした。

### 強み 急遽発生する修理案件に 迅速に対応

「同業他社が嫌がる部分を背負って立っている」と北野綱一社長は強みについて、こう話す。金型メーカーが減り、残ったメーカーに仕事が集まって繁忙を極め、金型の修理に手が回らない状況であり、海外で生産した金型の修繕を求めるケースも増えてきた。そこで、生産現場で急遽発生する修理に対する要望に迅速に対応するため、金型の生産をやめて修理やメンテナンスに特化することにした。

金型の修理に特化することで、現在は精密アルゴン溶接など社員の手仕事による精密な加工が得意なこともプラスに働き、順調に修理需要を取り込む。また、鋼材の仕入れが少なくなつたため、キャッシュフローの改善が見られたという。

### 人材育成 大分県主催の講座で 教壇に立つ

行橋工場（福岡県行橋市）からほど近い大分県で、プラスチック成形メーカーなどで働

く金型の保全担当者向けに金型講座を開いている。大分県が主催する「金型保全技術者育成講座」を担当し、平成28年度で3年目となる。同社の社員が月に1回程度教壇に立つ。北野社長は、「最初は迷ったが、恩返しするつもりで育成の仕事を引き受けた」と話す。受講者は溶接や金型を修理する際の擦り合わせの方法について金型そのものを手で触りながら、実践で役立つ技術を学んでいく。「できあがった金型を修理する体制が整っていないと、生産が続かない」と金型修理の意義を強調する。

### 後の展望 技術向上のための設備投資と 技術の伝承を進める

「過度な価格競争に嫌気が差していた」と強調する北野社長。金型の修理に特化するという信念を貫き、平成28年度に行橋工場に修理向けとして大型放電加工機とマシニングセンター（MC）を各1台導入した。

成長軌道に乗る一方で社員の高齢化が進んでおり、「30代の社員はいるが、20代はいない」と北野社長は危機感を抱く。金型関連の仕事は、プラモデルを作るのに時間を忘れるくらい没頭するような人材にとっとうつてつけという自社の社員を確保しつつ高い技術力を若い社員に継承していくのが今後の課題だが、技術の継承についてすでに準備は整っている。

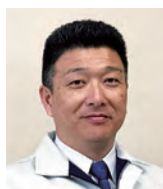


多様な金型修理ニーズに応える



大阪本社工場の様子

## 当社の歴史



平成27年で設立50周年を迎え、長い歴史のなかで現在の金型修理に特化した業務形態に至りました。「今後も『金型ドクター』としてお客様の要望をしっかり届ける」、「金型をしっかり調べ、悪い箇所を特定し適切な処置をする」、「お客様へのアフターフォローをしっかり行う」の3点を心がけていきます。

代表取締役 北野 綱一さん

<http://www.osaka-seimitu.co.jp/>

ISO 9001

### 主な事業内容

プラスチック成形用金型の修理・改造・メンテナンス

### 主な取引先(納入先)

自動車メーカー、  
家電メーカー

- 住所 〒581-0036 八尾市沼4-2-3
- TEL 072-920-2951
- FAX 072-920-2935
- 創業 昭和32年4月
- 設立 昭和39年11月
- 資本金 5,000万円
- 従業員 15名